

K220.72

44a

2

最新中等習字帖 中

寶文館編輯所編纂
愛石玉木本三郎書

(大正版)

東京
大阪

寶文館藏版

(大正二年改版)



大正
實文館發行

新中學校教科書

第一本
第二本
第三本
第四本
第五本
第六本
第七本
第八本
第九本
第十本

(大正二年七月)

緒言

一 本書は中學校教授要目に基づき中等教育程度 of 各學校教科書に充つる目的にて編纂せしものなり。

一 本書の主旨は從來の教科書の如き難解の字句格言等を材料として強ひて讀書科と聯絡を保たんとし一方於ては實際習字上の要素を缺き、**偏重の弊**を避けて専ら習字科教授の最良方法により、**基本的事**を以て出發點とし順次運筆結構の要訣の授け、**他種難**をせしむるに在り。

一 本書は右の主旨に基き、**僅少の時間**に於て教授と練習とに分の力を用ひしめ習字科の効果を多大ならしめんとするものなれば材料は教授と應用と相俟ちて進むことを圖れり。

一 本書の教材の配當は列表の如しされど實際教授時數の増減によりては適宜斟酌すること教授者に一任せり。

明治四十二年七月

編者 識

(一) 形字

習一第

市言宙 文及合

(二) 形字

() 習二第

物 國
海 罔
樂 門

文 市
又 言
合 留

第三習

古陵松柏吼天飈
山寺尋春春寂寥
眉雪老僧時輟帚
落花深處說南朝

古陵松柏吼天飈
山寺尋春春寂寥
眉雪老僧時輟帚
落花深處說南朝

習四第

字文用應

字文教新

目耳手足

相省眼聞聲職

掌拜捧路促蹇

第五習

應 用 文 字

新 教 文 字

火 水 木 土

秋 燒 煮 冰 泉 河

林 榮 李 地 基 在

新 教 文 字

秋 燒 煮 冰 泉 河

林 榮 李 地 基 在

第六習

露もつ草葉を鞋にふめば
袖吹く風は汗をぞ拭ふ
旅路の愉快を野路行く朝
追風を帆かけて泊を追へば
我がため波は歌をぞうたふ
たび路の愉快は海ゆく夕

海路の歌

海路の歌
旅路の愉快を野路行く朝
追風を帆かけて泊を追へば
我がため波は歌をぞうたふ
たび路の愉快は海ゆく夕

第七習

武士の矢並つく
るふ籠手の上ふ
霰たばしる那
須乃志の原

(一) 結構

對峙 不齊 第一 習 上平 下平

願理助却
鳴唯知和

Handwritten practice text in cursive style, including characters like 鳴, 唯, 知, 和, 願, 理, 助, 却.

(二) 構 結

習 二 第

並 堆

重 正

品
森
林
竝

立
木
炎
昌

識 第 (一)

變 亦 書

集 一 晉

上 平

下 平

麻

點

波

味

迦

却

味

味

習三第

日暮の聲に夕日沈めば松虫
 鈴蟲機織蟋蟀など鳴き出
 づ或は金の板を叩くが如く
 或は銀の鈴を振るが如し

日暮の聲に夕日沈めば松虫
 鈴蟲機織蟋蟀など鳴き出
 づ或は金の板を叩くが如く
 或は銀の鈴を振るが如し

(三) 結構

屈撇

屈波

習四第

減波

減勾

習三第

村棗食
頗効偏飯

村棗食
頗効偏飯

結 構 (四)

第 五 習

分 間

疎 密

多壽冊間

山口鶴寫

多壽冊間
山口鶴寫

第六習

盛年不重来
一日難再晨
及時當勉勵
歲月不待人

山
之
青
松
直
上
千
尺
不
畏
嚴
霜
凌
雪

第七習

男子立志出鄉關
學若不成死不還
埋骨何期墳墓地
人間到處有青山

男子立志出鄉關
學若不成死不還
埋骨何期墳墓地
人間到處有青山

第一習

忠君愛國
義勇奉公

忠君愛國
義勇奉公

第二習

冬溫夏清
昏定晨省

冬溫夏清
昏定晨省

有るは成
来りて成

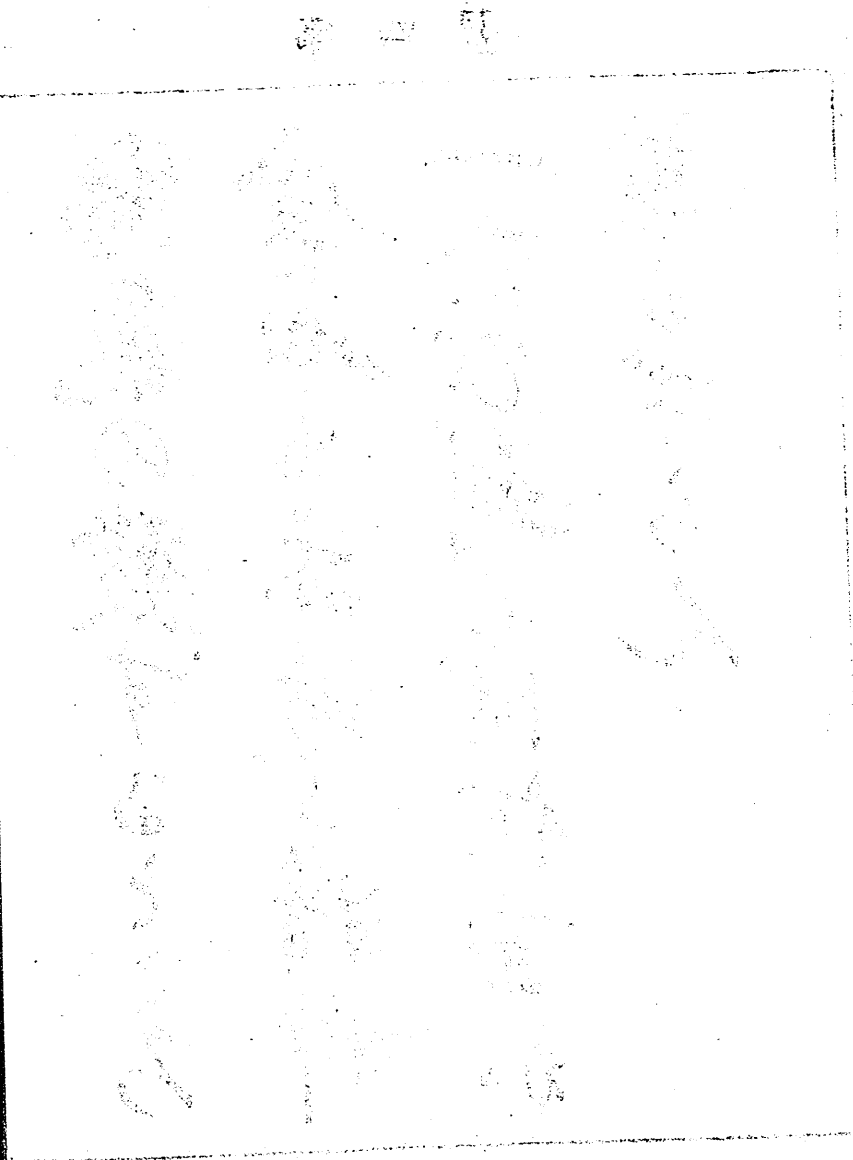
人の一生の重きを
負ひて遠きに行か
如し急ぐべからん

あつたかへんか
あつたかへんか
あつたかへんか

陽氣の發するところ
金石も亦透る精神
一たび到らば何事か
成らざらん

第五習 手紙の書式

書封は、封紙を
封筒内外の両面に
貼る。封紙の裏に
別段の封紙を貼る
事がある。封紙の
裏に封紙を貼る
封筒は、封紙を



封筒の書式

東京都目黒区橋通下石所

冬丁目番地

大山 春 彦 様

手 信

郵券

岐阜市津竹谷西番地

中野 芳 三 様

封

四月十日

Handwritten text on the envelope flap, including the recipient's name and address, and the date.

立 中學校
第二學年

11月 25日 晴
今日 學校 開學
學生 到校 人數
甚多 精神 煥發
上課 認真 聽講
下課 安靜 休息
今日 學校 開學
學生 到校 人數
甚多 精神 煥發
上課 認真 聽講
下課 安靜 休息

11月 26日 晴
今日 學校 開學
學生 到校 人數
甚多 精神 煥發
上課 認真 聽講
下課 安靜 休息
今日 學校 開學
學生 到校 人數
甚多 精神 煥發
上課 認真 聽講
下課 安靜 休息

W220.7

明治四十二年八月二日印刷
明治四十二年八月七日發行
明治四十三年十月十日訂正版印刷
明治四十三年十月廿日訂正再版發行

製複許采

明治四十四年九月十日訂正參版印刷
明治四十四年九月十五日訂正參版發行
大正二年九月七日訂正四版印刷
大正二年九月十二日訂正四版發行

定價各金拾八錢

寶文館編輯所編纂

書者 玉木本三郎

發行兼 大葉久吉

印刷者 東京市日本橋區木石町三丁目十七番地

發行所 東京市日本橋區木石町三丁目
(振替口座) 東京二八〇番

關西專賣 大阪市東區淡路町四丁目
(振替口座) 大阪四三番 合資 大阪寶文館